

西東京の教育



2020.3.15 / No.88

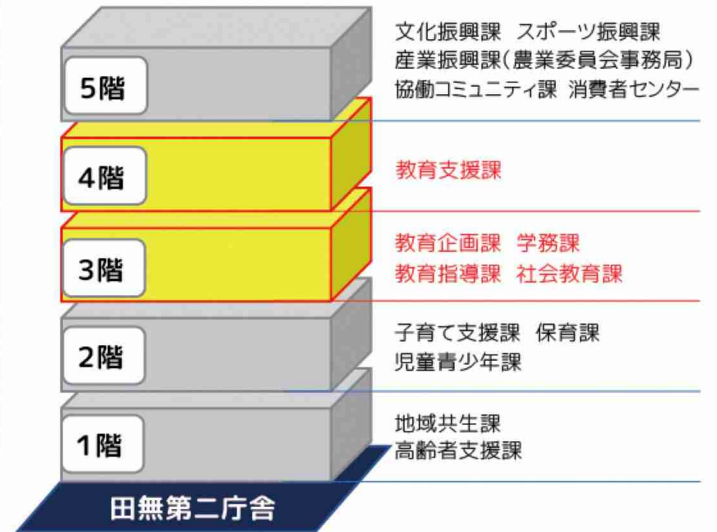
topics

- ① 教育委員会事務局
移転・組織改編のお知らせ
- ② 学校の働き方改革に取り組んでいます
- ③ 「夢・未来講演会」を開催しましたほか
- ④ 人権メッセージ発表&人権作文コンテスト入賞ほか

教育委員会事務局 移転・組織改編のお知らせ

2月10日に、教育委員会事務局は田無第二庁舎へ移転し組織も新しくなりました。

- ※社会教育課は、組織の改編はありません。
- ※公民館及び図書館は、移転・組織の改編はありません。



各課業務の紹介

教育企画課 ・企画調整係 042-420-2822
・施設係 042-420-2823

- 教育委員会関係事務
- 学校配当予算の編成及び執行管理に関すること
- 学校施設の管理
- 西原総合教育施設の維持管理

教育指導課 ・指導係 042-420-2827
・特別支援教育係 042-420-2828
・教職員係 042-420-2826

- 学校教育全般の指導
- 教職員の人事・指導・研修・給与・福利厚生
- 教育情報センターの管理運営
- 特別支援教育の推進

社会教育課 ・社会教育係 042-420-2831
・文化財係 042-420-2832

- 社会教育・生涯学習の推進
- 学校施設使用
- 放課後子供教室・地域生涯学習
- 文化財の保護、郷土資料室の管理・運営

- 主なお手続き**
- 学校施設使用の申請及び許可手続
 - 生涯学習情報の収集及び提供
 - 埋蔵文化財の手続

郷土資料室(西原総合教育施設内)
郷土資料室は、市内の郷土資料を収集・保管・保存・展示するための施設です。
旧石器時代の石器、縄文時代の深鉢形土器、石鏃、石斧、鎌倉・室町時代の板碑、江戸時代の蕪山笠、朱塗あんどんなどの郷土資料を5つの展示室で公開しています。
☎042-467-1183

学務課 ・学務係 042-420-2824
・保健給食係 042-420-2825

- 学校の設置及び廃止・学級編制
- 通学路に関すること
- 就学援助費・就学奨励費
- 児童・生徒の保健管理・学校給食

- 主なお手続き**
- 入学・転校の手続
 - 就学相談
 - 就学援助費等の申請
 - 就学時健康診断

就学相談
特別支援学校や固定制特別支援学級への就学や転学、通級、特別支援教室の利用等について、専門の相談員と相談しながら決定します。
☎042-420-2837

教育支援課 ・相談係 042-420-2829

- 教育相談センター
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー
- 適応指導教室「スキップ教室」
- 不登校ひきこもり相談室「ニコモルーム」

- 主なお手続き**
- 臨床心理士による相談(予約制)
 - 言語訓練士による相談(予約制)

教育相談・幼児相談
幼児から高校生までに關する園や学校生活上の悩み、心身の発達や子育てについての悩みなどを、臨床心理士が相談に応じます。予約制のため、お電話ください。
☎042-420-2830

言語相談
ことばの発達や発音など「ことば」に心配のある幼児・児童・生徒に、言語訓練士による言語相談や言語訓練の機会を設けています。
☎042-420-2829

学校の働き方改革に取り組んでいます

教育委員会では、平成30年12月に「学校における働き方改革推進プラン」を策定しました。これは、教員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することにより、学校教育の質の維持向上を図ることを目的とするものです。

保護者や地域の皆様には、引き続き、学校における働き方改革の趣旨に対してご理解とご協力をお願いします。

平成30年6月に実施した「西東京市公立学校教員勤務実態調査」では、週当たりの在校時間が60時間(月当たりの時間外労働がおおむね80時間となる状態を週当たりに換算)を超える、いわゆる「過労死ライン」に相当する教員が多数存在するなど、長時間労働の実態が明らかになりました。(下表)

週当たりの在校時間60時間以上の教員の割合 ※西東京市公立学校教員勤務実態調査(H30.6)

	校長	副校長	管理職以外	全職層
小学校	22.2%	68.4%	30.1%	31.3%
中学校	33.3%	55.6%	58.4%	57.4%

この結果を踏まえ、本市では以下の5つの方向性を柱とし、これらを組み合わせて総合的な対策を講じていきます。

取組の5つの方向性

☀ 在校時間の適切な把握と意識改革の推進

- ・ICTの活用やタイムレコーダーの導入等により、在校時間を客観的に把握・集計するシステムの構築を目指して取り組みます。
- ・教員の意識改革と長時間労働の解消を図るため、谷戸小学校と明保中学校をタイムマネジメント力向上支援事業のモデル校に指定し、意識改革等の進め方について研究します。

☀ 教員業務の見直しと業務改善の推進

- ・教員の専門性が求められる業務を精選し、教員以外の者が担うことができるものについて、役割分担の見直しやICT化の推進などに取り組み、教員の負担の軽減を図ります。

☀ 学校を支える人員体制の確保

- ・個別の教育課題を解決するための教員の配置や外部人材による指導等について、引き続き実施します。
- ・教員が児童・生徒への指導や授業準備等に一層注力できるようにするために、教員に代わって学習プリントの印刷や採点・データ入力等を行う、スクール・サポート・スタッフの配置拡大について検討します。

☀ 部活動の負担を軽減

- ・教育委員会が作成したガイドラインに基づき、活動時間の見直しや休養日の設定の在り方を示すほか、「部活動指導員」や外部指導員による指導を進めます。

☀ ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備

- ・長時間労働を改善し、教員一人ひとりが様々な経験を通じて自らの研鑽を積む機会を確保することにより、教員の生活を第一に考えた「ライフ・ワーク・バランス」の実現を目指します。



タイムマネジメント力向上支援ワークショップ

具体的な取組

★ 夜間、週休日における留守番電話による対応

- ・市立学校では引き続き、以下の時間帯において留守番電話対応を行います。
【平日】午後6時30分から翌朝午前8時まで
【週休日】終日

★ 学校閉庁日等の設定

- ・各学校において、定時退庁日や長期休業中等における連続した学校閉庁日を設定し、それぞれの実情に応じた勤務環境の改善に取り組みます。

◆教育指導課 042-420-2827

周年記念式典を開催しました

中原小学校
開校60周年

中原小学校 校長 水野 伸一郎

本校は昭和34年、ひばりが丘団地の建設に伴い、旧保谷町5番目の学校として開校しました。それから60年の年月を経て、校舎建替という大きな節目の中、昨年10月18日(金)に仮校舎において「開校60周年記念式典」を挙行了しました。式典では参列した5・6年生の言葉と歌声に対して、来賓の皆さまから多くのお誉めの言葉をいただきました。中原小学校の子どもたちの良さをお伝えすることができたと自負しております。

本校校歌の歌詞「学びの道にいそしめば、正しく強く伸びていく」は、本校の目指す教育の姿を表しています。これからも開校当時の



5・6年生による合唱「青の記念日」

先人の方々の思いや願いを踏まえ、教職員一丸となって子どもたちを育ててまいります。保護者及び地域の皆さまにおかれましては、今後も本校の教育活動にますますのご支援とご協力をお願いいたします。

本町小学校
開校40周年

本町小学校 校長 保谷 力

本校は昭和54年4月、保谷小学校と東伏見小学校を母体校とする、6年生を除く子どもたち500人14学級で、地域の方々や保護者の大きな期待を受けて旧保谷市本町に開校いたしました。本校には開校当初から、21世紀を生き抜く子どもの姿を託し、子どもたちの健やかな成長を見守り続けてきた3本の校樹があります。楠には賢さを、榲には人としての優しさを、そしてメタセコイアには逞しさを託しました。

平成13年に西東京市が誕生してからも、こうした地域の方々、教職員の思いは少しも色あせることなく40年という長い歳月の間を脈々と受け継がれております。式典当日は市長をはじめ、多くのご来賓の皆さまのご臨席を賜り、盛大な式典を執り行うことができましたこと、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



「夢・未来講演会」を開催しました

夢の実現に向けてチャレンジする中学生を応援することを目的として、1月25日(土)に保谷こもれびホールにて「夢・未来講演会」を開催しました。

本講演会は、生徒自身が企画運営し、準備から本番まで主体的に進めることが特徴です。役割分担や発表準備、本番を想定したリハーサル、本番の進行や発表等、各市立中学校の代表生徒が、協力して取り組みました。

第1部では、生徒が自分の夢や、自分が考える西東京市の未来像等について発表しました。



「挨拶の大切さ」や「何事も最後まで諦めずに挑戦すること」、「コミュニケーションの重要性」など、様々な体験から学んだことについて、生徒一人ひとりが自分たちの現状を踏まえながら発表を行いました。また、生徒が自らアンケート調査等を行い、普段感じているまちの特徴について分析し、これからの西東京市の未来について自分の考えを発表しました。

第二部では音楽家の青島 広志先生から「夢の実現に向けて一音楽をとおして」と題して講演をしていただきました。

青島先生からは、中学生の時に、「このようになりたい」「これだけは困る」ということを考えてもらいたいという話をいただきました。

また、青島先生自身が中学生の時に、音楽から受けた印象を歌とピアノで演奏してくださいました。

生徒たちは真剣な眼差しで演奏に聞き入っていました。



◆教育指導課 042-420-2827

第11回中学生「東京駅伝」大会が開催されました

第11回中学生「東京駅伝」大会が2月2日(日)にアミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園で行われました。

選考会で選出された中学2年生の生徒が結団式、練習会、試走会を経て出場しました。

当日、男子は42.195kmを17人で、女子は30kmを16人で、それぞれ襷をつなぎました。

選手一人ひとりが、練習の成果を十分に発揮し、市の代表にふさわしい力強い走りをしてくれました。

【男子の記録】
2時間26分16秒(第25位)
【女子の記録】
1時間57分49秒(第22位)
総合順位(25位)



女子キャプテン

田無第四中学校 岩本 母毓さん

東京駅伝では、応援の力強さを感じました。沿道から大きな応援が聞こえた瞬間、嬉しくなって不思議と足が軽くなりました。タスキを仲間につけた時は達成感を感じました。絆を深めることができた最高の思い出です。

総監督

明保中学校校長 矢野 尊久

代表選手42名は試走会を含め全3回の練習会を行い、「ワンハート」のスローガンのもと、襷だけではなく心も繋ぎ、爽やかな走り、人々に元気を与えることができました。ご支援・ご声援ありがとうございました。

◆教育指導課 042-420-2827

西東京市学校施設適正規模・適正配置の検討

教育委員会では、人口動態の変化に伴う児童・生徒数の推移や学校施設の老朽化等に対応するため、西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針の策定に向けた検討を行っています。

昨年7月から学識経験者、PTA、地域関係者等で構成される懇談会において、今後の考え方などを協議してきました。

今後、懇談会の報告書などをもとにさらに協議を進め、基本方針(案)をまとめ、パブリックコメントを実施する予定です。

子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の充実を目的に、教育環境への影響や留意点を整理しながら基本方針を策定し、学校施設の老朽化対応等に取り組んでいきます。

◆教育企画課 042-420-2822

「中学校特別支援教室」の設置に向けて ～モデル校で試行します～

現在市立小学校に設置している特別支援教室を、令和3年度からすべての市立中学校に設置する準備を進めています。

来年度には、情緒障害等通級指導学級を設置している田無第二中学校、明保中学校の2校に、ひばりが丘中学校、青嵐中学校を加えた計4校でモデル実施を行います。

特別支援教室が全校に設置されることで、これまでの通級指導学級の設置校だけでなく、自分が通っている学校でも、個に応じた学習面・生活面の指導を受けられるようになります。

◆教育指導課 042-420-2828

給食費の納め忘れはありませんか

市立小・中学校では学校給食法に基づく完全給食を実施しています。学校給食法の規定により、給食の実施に要する経費のうち、食材費を保護者の方々にご負担いただいています。納め忘れなどで給食費に滞納が生じると、食材の仕入れや支払いなどに影響が生じかねません。

年度末を迎えるにあたり、納め忘れがないか、いま一度ご確認をお願いします。なお、家計の事情などで支払いが滞っている場合は、まずは学校にご相談ください。

ご理解とご協力をお願いします。



◆学務課 042-420-2825

卒業式及び修了式について

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、卒業式及び修了式は、必要最低限の規模で実施します。

(1) 卒業式

- ①日程 小学校:3月25日(水)、中学校:3月19日(木)
- ②参加者 卒業生及び保護者(各世帯2人まで)、教職員
- ※来賓、在校生は参加しません。

(2) 修了式

- 日程 小学校:3月24日(火)、中学校:3月25日(水)
- ※放送での実施または学級ごとの実施とします。

その他教育委員会が主催する各種行事・イベント等の開催については、各担当課へお問い合わせください。

※これらの情報については、今後の状況により変更の可能性がります。

◆教育企画課 042-420-2822

人権メッセージ発表 & 人権作文コンテスト入賞

第26回子どもたちからの人権メッセージ発表会において多摩東地区13市の各市代表が発表を行い、本市の代表として3人の児童が発表を行いました。

人権メッセージ発表会	保谷第二小学校	4年	みやもと 宮本 凛香
	谷戸小学校	5年	きよ 許 あいこ
	東伏見小学校	6年	すずき 鈴木 あい 亜依

令和元年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会が開催され、4万176編に上る作品のうち、市立中学校の生徒が奨励賞を受賞しました。

人権作文コンテスト	保谷中学校	3年	おくま 小熊 あんじ 晏司
-----------	-------	----	---------------

◆教育企画課 042-420-2822

西東京市教育委員会教育長表彰

西東京市教育委員会教育長表彰は、優れた功績を挙げた個人及び団体を教育長が表彰するため、昨年度から設けられた制度です。

令和2年1月24日(金)には、各市立学校の校長から推薦のあった、令和元年度未成年者喫煙防止ポスターコンクールの入賞者、第63回東京都児童生徒発明くふう展の入賞者及び第26回子ども



たちからの人権メッセージ発表会の発表者のうちの1人、計3人の児童を教育長が表彰しました。

紙面の都合上、被表彰者全員を紹介することはできませんが、ご了承ください。

◆教育企画課 042-420-2822

新型コロナウイルス感染症 拡大防止に向けた対応について

教育長 木村俊二

市民の皆さまには、日ごろから西東京市の学校教育の振興について格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための対応措置として、全ての市立小・中学校を3月2日から春季休業日開始まで休校といたしました。これは、子どもたちの健康や安全を守ることは教育委員会の責任であるとの考えによるものです。

しかし、一方で、子どもたちは楽しみにしていた学期末の諸行事が出来なくなってしまうとともに、保護者の皆さまにはご家庭でのお子様の見守りなど、様々な影響が生じています。教育委員会は、このことをしっかりと受け止め、市長部局と連携し、休校中の子どもたちの居場所づくりをはじめとした対応を行っています。

新型コロナウイルス感染症の拡大が一日も早く終息し、子どもたちの明るい歓声が響く学校生活の回復を願うとともに、今後とも学校や地域社会の皆様と連携してまいります。